



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享清

出席報告：会員74名 出席57名 出席率77.03% 前回出席率74.32% 修正出席67名 確定出席率90.54%

四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

会長報告

川村徳男君

1. 元当クラブの会員で、板垣俊次さんの養父の板垣清治さんが6月1日死去されました。まことに御愁傷様でございます。本日葬儀がございまして私がクラブを代表して参列し、ご香典を差し上げてまいりました。
2. 午前中に本年度最後の定例理事会が行なわれましたが、特にご報告申し上げることはございません。
3. クラブ資料委員会の編集による創立当初からの入退会者の名簿を本日お渡ししてあります。26年も経過しますと資料不足になってしまっていて、入退会の年月までではどうか調べましたが、日付については不明瞭のものが多いようです。お気づきの方がいましたら、教えていただければありがたいです。
4. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係

6月9日の日曜日は鶴岡ロータリークラブの創立26周年に当たります。本日はその記念例会ということにいたしましたので、のちほど一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

前後しますが、今日は庄内分区の現及び次期の会長・幹事の会合が湯野浜で行なわれます。

8日は、交換学生のオリエンテーションが寒

河江で行なわれます。

また、来週火曜日はご案内のとおりクラブ協議会を行ないませんが、本年度最後のクラブ協議会になりますので、外部拡大、クラブ資料及びI・G・Fの各特別委員会の委員長さんともぜひご出席下さるようお願い致します。なお、次年度の方々は委員長さんが出られない場合は必ず代理の委員が出席するようにして下さい。

(2) 一般の行事

今日、4日からは歯の衛生週間です。私ごとですが虫歯もなく全部自分の歯ですので、何でもおいしく食べられるし、好き嫌いもないので健康でこの一年間の任務に堪えられたのかも知れません。両親ともに歯は良かった方で、親に感謝しております。

明5日は大山の犬まつりですし、世界環境デー。7日は計量記念日。10日は時の記念日です。

幹事報告

迎田 稔君

○回覧

- ・ロータリー財団の寄付金について
- ・鹿児島西R.C会報

○地区大会のご案内

第273地区 宮崎

庄内空港の建設を推進しましょう

創立26周年に当って

会長 川村 徳 男 君

創立26周年を迎えご同慶に存じます。

チャーターメンバーが2人居られますので、この人達から創立当時のお話をお聞きするのもよいが、私達自身、先人の記録の中からその偉業をじっくり探ってみるのも、これからの我がクラブの発展の為に意義深いものと思います。本日は会長の所感というよりも、主として10周年記念誌の冒頭の部分にあります、当時の高橋与一地区ガバナー及び特別代表であった安斎徹パスト・ガバナーの序文、小花盛雄初代会長の“クラブ創立前後の思い出”、10周年記念式典当時の石黒慶之助会長の挨拶、更には10周年記念誌の嶺岸編集委員長の編集後記の中から話題をひろって、クラブ創立の情熱や活動の苦労やらを偲びながらご紹介しようと思います。

創立から10年の間に入会されて、現在会員として残っておられる方は20名居られますが、この方たちは私がこれからお伝えしようとする10年誌の中の記事については先刻ご承知のことですので聞き流して頂きまして、本日はむしろ最近入会された方を対象としてお話したいと思います。

ただ一つご勘弁願いますのは、時間の都合もありますので、先程申し上げた方々のお話を引用しますのに、あちこち飛ばさなければなりませんのでご諒承下さい。

先づ第一に、創立当時の苦労というものは並々のものではなかったように思われます。

安斎特別代表の序文の中に“山形に創立されたのは昭和25年であります。米沢にクラブを創立するのに骨を折ったのでありますが、それがきっかけになってぞくぞくとクラブができるようになった。重要なのは庄内平野である。小さな町々にさえもできるのに（注・山形県内では、25年8月山形、32年6月上山、33年2月山形西、同年4月天童、同年9月米沢、34年4月村山の各クラブが認承されている。）

大都市である酒田、鶴岡にできないのは遺憾であるということから、真先に酒田に参り、皆様と研究したのでありますが、なかなか当時はご理解いただくのが容易に進まなかった。そこで鶴岡に参り、幸い私には至るところに教え子がいるのです。始めはロータリークラブが何ものであるか理解をもっていたくのに骨を折ったのであります。ロータリーが今日こそ理解をもたないのは非常識といってもよい時代になってきましたが、当時はロータリーは何ものであるか、それをわからせることも容易でなかったのであります。創立当時3ヶ月に亘っておじゃまいたしました”ということが書いてあります。

また、小花初代会長のあいさつの中には、“何しろ山形県下で7番目のクラブとはいえ、荘内地方では勿論初めて、この封建性の強い城下町に、とかく横文字、カタカナの多く飛び出す所謂バタくさい集りは一体何者ぞ、という眼がいつも私達を取り囲んでおり、また一部の實力筋は会員拡大の運動に対して同様の意味で大きな障害となったこともありました。その頃私達は漸くロータリーの真義を深く理解し、この発展が地域社会には勿論、国家的にも、また、最終的には全人類の幸福にもつながるものであるという信念に燃えていましたので、全世界のロータリアン50万同志の応援を得てもこの封建的な空気を打破して、行手に立ちふさがる障害を乗り越えてゆかねばならぬと悲愴な覚悟をした一幕もあって、今思い出しますと猪の向う破り的な未熟時代だったと思います。この障害排除にはいろいろの努力をしました。対外的奉仕活動にも様々な困難が伴っていた訳ですが、先づ地域社会の人々にロータリーを理解してもらうためには行動をもってすることが第一と考え、地味な身近な事から入ってゆきました”、と言っておられます。

そこで、何をしたかといいますと、鶴岡駅にロー

タリー傘を寄贈したり、思恩園老人ホームに金一封を贈呈して慰問したり、岡山県の未知の孝行少年を5年間も援助を続けた余目町廿六木の太田まり子さんを創立記念日の家族会の席上で顕彰したり、市内の中学校に緑化と情操教育の一助にとポプラと桜の苗木を寄贈したり、伊勢湾台風の被災者に金一封を贈ったり、というような地域社会の共感を得るため対外奉仕活動に精魂を込めたようです。

また、創立当時から国際奉仕には力を注いでいたようで、安齋特別代表の序の中に、“鶴岡は鶴岡の特色があって、今日おそらく地区のみならず東北全体のロータリークラブ全部を総あげしても、今日のこのクラブは国内的よりも国際的になってきております。このクラブのできた当時においては、一般からいうと、国際奉仕委員会などという一体何をやったらよいのか、国際という言葉が理解できなかったのであります。一番早く目をかけてこの国際奉仕をもちたてていただいたのが、鶴岡クラブであります”とあります。

創立当時、小花会長、張紹洵さん、三井徹さん、今間壮太郎さん、斎藤栄作さんなどがかわるがわる海外へ行かれて海外クラブとの友好を深められ、また、早くから交換学生を派遣したり、受入れをしたようで、嶺岸さんの編集後記によりますと、交換されたバナーの数も、“国外156クラブ、国内120クラブ”とありますように、国外との交流が非常に多かったようです。

また、安齋特別代表は、次のように述べておられます。即ち、“財団に対する熱意をみただけでもそのロータリークラブはどんな程度にロータリーを理解して活動しているかがわかるのであります。関西地方や東京地方では500%はおろか、1,000%を越えるところも多くあります。東北地方になりますと100%に達しないところが相当あります。200%の

クラブは良い方です。このクラブのような発展活動の実践をみせていただきますと、有効に他に影響があると思います”と。更に、当時の石黒会長のあいさつの中には、“元会長の張君がお骨折りいただき、お蔭で我がクラブも500%クラブで、地区内では一番のクラブになり、名誉をいただいております”とあります。

最後になりますが、高橋ガバナーの序の中に、“初年度から今日まで各幹部の方々のご健在であるということ、各ロータリークラブを見ておりますが、誠に珍しいことではないかと思えます。私の地区（注・当時は秋田、山形、福島の3県）でも他にないと考えます。先輩の方々が当クラブの発展のためにご指導いただいたおかげで、すくすくと成長されたと考えられます。また、地域社会におけるご活躍特に当クラブは国際奉仕における国際理解の点において誠にめざましいご功績があった”とありますが、今、現在をみましても、歴代会長24人中現にメンバーとして残っている方が15名で、物故者の7名を除けば退会しておられる方は2名だけであります。また、幹事にしても同じような状況でありまして、会長・幹事の経験者の70%近くの方が現にメンバーとして残っておられ、更には、職務上やむなく転勤退会された方は別として、退会者が非常に少なく、経験豊かな方々が大勢残っておられ、クラブの発展のために活躍しておられることは非常にすばらしいことであり、“誇り高いクラブ”として自他ともに認められる所以であろうかと思う次第であります。

結びとしまして、安齋特別代表の、“自分から年をとったという気持ではロータリーの活動はできない。ロータリーは健康になる会合であります”ということばを紹介し、皆様のご健康を祈念して、26周年記念の会長あいさつといたします。

委員会報告

親睦活動委員会

会員誕生

張 紹洵君・布施隆夫君
石黒慶之助君・松田貞夫君
佐藤英明君・高橋良士君
高田耕助君

奥様誕生

斎藤美代子(隆)様
斎藤和(昭)様

出席委員会

◎ 年間皆出席

16年間皆出席	手塚林治君
14	〃 佐藤順治君
14	〃 市川輝雄君
11	〃 飯白祐佑君
9	〃 丹下誠二郎君



◎ 5月100%出席 55名

秋野・阿蘇・張・藤川・平出・早坂・布施・飯白石井・石川・石黒・板垣(俊)・市川・飯野・川村小池・今村・皆川・加藤(賢)・塚原・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・松田(貞)・松田(士)・中江・中田・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・佐藤(元)・新穂・鈴木(善)・菅原・鈴木(弥)・佐藤(英)・鈴木(茂)・佐々木・斎藤(昭)・白坂・高橋・丹下・津田・手塚(林)・富樫・高田・上野・若生・山口・吉野・関原・内山

ローターアクト委員会

鶴岡工業高校のクラブ員が9名になりました。

スマイル

吉野 勲君 創立記念日に自家製品(紅白餅)

を使用していただきました。

石黒慶之助君 川村会長さんが67才まで虫歯なしとお聞きした事と、三井健さんの親睦委活動に敬意を表して。
川村徳男君 創立26周年を無事迎える事が出来ました。

ビジター

余目R.C. 佐藤孝二郎君
鶴岡西R.C. 菅原年雄君・菅原幸雄君
三浦正志君

ロータリー用語便覧(20)



世界各国の全ロータリー・クラブを会員として組織された連合体で、略称RI(Rotary International)したがって、個々のロータリアンは所属するクラブの会員ではあるが、

国際ロータリーの会員であるということではない。

国際大会 全ロータリー・クラブの代表者を招集し、連合体の業務の執行に当

たらせるとともに、国際的雰囲気の中でロータリーの目的をよく理解させ、個人ロータリアンの奉仕の機会について知識を広め、またや国の人々をよりよく理解するプログラムに参加させることを目的として、毎年5月か6月に、理事会の決定した時と場所において開催される。ただし、十分な理由のあるときは、理事会はこれを変更することができる。なお大会開催地は、「4年に1度は北米合衆国以外の地が望ましい」とされていたが、1970年大会以後は、「連続して2年を越えて同一国で開催してはならない」ことになった。

この国際大会では、加盟クラブの代議員が参集して国際ロータリーの役員を選挙し、また大会に正式に提出された立法案を審議する。

(今週の担当者 忠 鉢 徹)